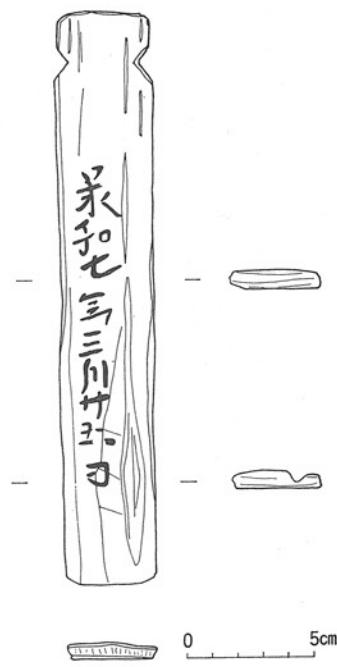


鵜島二壽「千代川遺跡 第13次」(動京都府埋蔵文化財調査研究セン
ターリ『京都府埋蔵文化財情報』第二八号 一九八八年)

(土橋
誠)



京都・矢谷遺跡

- | | | |
|---|---------------|------------------------|
| 1 | 所在地 | 京都府天田郡夜久野町大字板生(今西)小字矢谷 |
| 2 | 調査期間 | 一九七三年(昭48)四月 |
| 3 | 発掘機関 | (表面採集) |
| 4 | 調査担当者 | 安橋富男(発見者) |
| 5 | 遺跡の種類 | 不明 |
| 6 | 遺跡の年代 | 不明 |
| 7 | 遺跡及び木簡出土遺構の概要 | |

矢谷遺跡は、板生谷と呼ばれる谷のほぼ最奥部にあり、牧川左岸側の尾根の比較的緩かな傾斜の突端に位置する。地表に口縁部を露



(出石) 板から文字が発見された。
壺は口縁のつくりから鎌倉時代末頃のものとみられ、壺を埋めるための施設などはみられず、地山に直接埋

